

## ハイチでコレラが流行

2010年10月24日 ProMED 情報 (MSNBC,Notisistema)



ハイチではコレラの流行が同国の中央部奥地の谷間から首都へと広がっています。このため、数十万人の地震被害者が収容されている避難キャンプにコレラの拡大する懸念が高まっています。10月23日現在、死亡患者は200名に達しましたが、首都ポルトー・フランス Port-au-Prince でコレラ患者5名が発生した後、人口が密集し地震の被害を受けた同市でコレラが拡大するという恐怖が高まっています。国連当局によると、患者5名(流行が始まってから最初に首都で確定診断された患者)はポルトー・フランスの北方にある流行の中心地アルティボニット Artibonite で感染し、その後同市を訪れた時に発病したそうです。

首都には240万名以上が既に住んでいますが、生活するには大変危険な状況です。2,600名以上のコレラ患者が報告されるとともに、患者数がさらに増加するとの専門家の予測のため、同国と国際医療班は、瓦礫が散乱した首都の北方にあるアルティボニット地域と中央高地地区で、必死に流行の封じ込めを行っています。

10月23日、保健当局によるとアルティボニット地域でコレラ死亡患者194名と隣接する中央高地地区で死亡患者14名が報告され、患者数は2,674名に達しました。

10月22日、ハイチ保健省は、最も危険で世界の多くの流行の原因であるコレラ菌 *Vibrio cholerae* O1 が世界保健機関(WHO)によって同定されたと発表しました。(10月22日 Notisistema)